

## 早期の発見・診断が重要！

「年のせいだから仕方ない」  
「まさか自分が認知症なんて…」  
「どうせ治らないから、病院には行かない」



自分や家族に認知症と思われる症状が表れても、病院受診をためらう方が少なくありません。しかし、認知症は**早期発見・早期診断**が非常に重要な病気です。

認知症の原因となる病気の中には、早期に治療すれば治せるものもあります。また、症状の軽いうちに認知症のを知っておけば、認知症とう向き合い、どのように生活していくかなどを考える時間もできます。

### ■ 認知症は専門の医療機関で受診を

認知症の診断は初期ほどむずかしく、高度な検査機器と熟練した技術を要する検査が必要です。受診の際は、専門の医療機関を受診しましょう。



一般的に神経内科・精神科・心療内科・脳外科・もの忘れ外来が専門の医療機関です。かかりつけ医に相談して紹介してもらおうというのも一つの方法です。

## 認知症の人にも心があります

認知症になると、何もかも分からなくなるわけではありません。認知症の人は、もの忘れがひどくなったり、行動が遅くなったり、同じことを何度も言ったりすることがあります。しかし、そんな症状が出て、本人の心は以前のままです。

### 認知症の人の心の中



●現在の状態が理解できなかったり、何をやってたかわからなくなったりして、いつも不安を抱えています。

●自分の周りに起こっている状況が理解できず、困惑して混乱状態になることがあります。急がされて自分のペースが乱れたり、失敗を注意されて、ますます混乱することもあります。

●知っている場所に行こうとしても、認知障害のためにどのように行くか判断できません。なんとか解決しようとパニック状態になってさらに歩きまわります。

## 少しでも「おかしいな」と感じたなら、すぐに相談を

まず理解してほしいことは、認知症は病気であるという事です。

ご家族の方の理解はもちろんですが、地域住民一人ひとりの理解も非常に重要です。ご家族が認知症の問題行動に24時間付き合うのは大変なことです。しかし、お住まいの地域の方々の理解があれば、ご家族の気持ちもずいぶん楽になるんです。認知症は、ただの老化現象と見過ごしたり、周りの目などから言いにくかったりするかもしれません。しかし、早めに相談することで、本人や家族の負担軽減につながります。

本人や家族の行動などが「おかしいな」と感じたなら、出来るだけ早く医療機関や包括支援センターの窓口にご相談してください。



▲桂川町地域包括支援センタースタッフの皆さん



健康福祉課  
(桂川町地域包括支援センター)  
川波 和富 課長